

宮崎スポーツ協

VOL.220

令和3年3月発行
公益財団法人宮崎県スポーツ協会



CONTENTS

- 巻頭言
- 県スポーツ協会役員一覧
- 令和2年度事業報告
- 県スポーツ協会表彰
- 日本スポ少・県スポ少表彰
- 国体関係【対策会議・冬季国体報告等】
- みやざき県民総合スポーツ祭
- ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト事業
- 県スポーツ少年団事業計画
- 県スポーツ医・科学委員会便り
- 加盟団体便り【県障がい者スポーツ協会】
- 指導の現場から
- 賛助会
- 編集後記
- チームみやざき応援グッズ



公益財団法人宮崎県スポーツ協会

会長 春山 豪志

巻頭言

「できることをみつけ、前進する」

関係の皆様におかれましては、日頃から本県スポーツの振興に御尽力いただき、厚くお礼申し上げます。

令和2年4月、本協会は、「公益財団法人宮崎県スポーツ協会」と名称変更いたしました。それに伴い、広報機関紙も『宮崎スポ協』と名称変更し、号数は引き継ぎつつ今後も発行することといたしました。

一年前、この一年間を誰が想像できたでしょう。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、あらゆる大会が中止や延期になってしまいました。その後もウイルスは世界中で猛威を振るい、国民体育大会、さらに、東京オリンピック・パラリンピックまでもが延期となりました。「日常」と思っていたことが崩壊し、不安の中我慢を余儀なくされ、これまで経験したことのない日々を過ごしてまいりました。

そのような中、「私たちにできることは何だろう」と考えます。

それは、様々な制限がある中、できることとできないことを選別し、できることを着実に実践することだと考えます。

今後も先の見えない状況が続きますが、私達には、今をポジティブにとらえ、創意工夫して行動する力があります。そして、以前のような日常が取り戻せたときには、今実践していること一つ一つが私たちの糧となり、さらに質の高いものへと発展させられるはずです。

宮崎県で開催する国民スポーツ大会まであと6年。悲願の天皇杯獲得に向けて、競技でも運営でも日本一を目指し、今できることをみつけ、力を結集し、着実に前へ進んでいこうではありませんか。

結びに、皆様の日頃からの御協力に対し、重ねて感謝申し上げますとともに、今後とも一層の力添えをお願い申し上げ、巻頭言とさせていただきます。

令和2年度 公益財団法人 宮崎県スポーツ協会役員

区分	氏名	役職・所属団体名	区分	氏名	役職・所属団体名
会長理事	春山 豪志	株式会社宮崎放送代表取締役会長	評議員	杉田 藤一	県銃剣道連盟
副会長理事	野崎 伸一	公益財団法人宮崎市体育協会会長	〃	濱上 紀子	県フェンシング協会
〃	廣田 彰	宮崎県スポーツ指導者協議会会長	〃	那須 司	県ボート協会
〃	中馬 光久	宮崎県カヌー協会会長	〃	野村 光秋	県アーチェリー協会
〃	塩月 光夫	宮崎瓦斯株式会社代表取締役会長	〃	橋口 昭彦	県セーリング連盟
専務理事	佐多 裕之	公益財団法人宮崎県スポーツ協会	〃	杉本 敏文	県ホッケー協会
理事	木下 理	宮崎県障がい者スポーツ協会チャレンジスポーツディレクター	〃	田岡 正和	県空手道連盟
〃	山本 幸徳	宮崎県スポーツ推進委員協議会副会長	〃	久保 貴嗣	県スケート連盟
〃	原田 種英	宮崎県スポーツ少年団本部長	〃	佐澤 勲	県スキー連盟
〃	大山 俊郎	宮崎日日新聞社運動部長	〃	佐々木 逸夫	県なぎなた連盟
〃	尾崎 勝博	宮崎県スポーツ医・科学委員会副委員長	〃	宮田 優志	県カヌー協会
〃	児玉 康裕	宮崎県高等学校体育連盟会長	〃	原口 宏史	県ボウリング連盟
〃	古木 克浩	宮崎県中学校体育連盟会長	〃	立山 慎	県少林寺拳法連盟
〃	串間 敦郎	一般財団法人宮崎陸上競技協会理事	〃	吉田 詔一	県四半的弓道連盟
〃	平本 修	宮崎県ソフトボール協会理事	〃	愛甲 昭彦	県ゲートボール協会
〃	秋田 義久	宮崎県テニス協会会長	〃	関師 文明	県アイスホッケー連盟
〃	児玉 慎二	宮崎県銃剣道連盟会長	〃	窪田 ひとみ	県ミニバレーボール協会
〃	園師 直利	一般財団法人宮崎県水泳連盟評議員	〃	菊池 政雄	県グラウンド・ゴルフ協会
〃	相星 正人	宮崎県バレーボール協会副会長	〃	兵頭 三郎	県武術太極拳連盟
〃	萩原 利文	宮崎県ボクシング連盟会長	〃	斉藤 博敏	県ゴルフ協会
〃	橋田 和実	宮崎県エアロビック連盟名誉会長	〃	浜山 恭光	県トライアスロン連合
〃	房安 生二	日南市体育協会会長	〃	福田 紀行	県綱引連盟
〃	吉田 建世	一般財団法人延岡市体育協会副会長	〃	宮川 泰也	県ミニテニス協会
〃	小泉 桂一	児湯郡体育協会会長	〃	押川 福繁	NPO法人県サーフィン連盟
〃	中村 新	北諸県郡体育協会会長	〃	松下 國英	県パークゴルフ協会
監事	内田 光徳	公益財団法人宮崎市体育協会専務理事	〃	松永 須美子	県エアロビック連盟
〃	東長 達也	元県立学校事務長	〃	日高 正憲	県ダンススポーツ連盟
評議員	湯前 英則	一般財団法人宮崎陸上競技協会	〃	益森 孝志	公益財団法人宮崎市体育協会
〃	杉村 隆寿	一般財団法人宮崎県水泳連盟	〃	保田 篤則	一般社団法人延岡市体育協会
〃	中馬 義郎	県バレーボール協会	〃	郡山 武弘	一般財団法人都市体育協会
〃	井料田 豊	県軟式野球連盟	〃	山田 一	日南市体育協会
〃	當瀬 純一	県ソフトテニス連盟	〃	栗栖野 弘	小林市体育協会
〃	坂元 憲一	県卓球協会	〃	瀧井 修	日向市体育協会
〃	重信 和行	県弓道連盟	〃	岡留 浩	串間市体育協会
〃	石田 喜克	県ラグビーフットボール協会	〃	馬渡 和利	西都市スポーツ協会
〃	日高 和典	一般社団法人宮崎県サッカー協会	〃	小園 栄一郎	えびの市体育協会
〃	米田 史彦	一般社団法人宮崎県バスケットボール協会	〃	山下 美穂	児湯郡体育協会
〃	児玉 俊悟	県柔道連盟	〃	甲斐 哲也	西臼杵郡体育協会
〃	矢野 節男	県剣道連盟	〃	藤田 大地	東臼杵郡体育協会
〃	土井 祐二	県相撲連盟	〃	桑畑 則幸	北諸県郡スポーツ協会
〃	後藤 憲一	県体操協会	〃	田上 則昭	西諸県郡スポーツ協会
〃	斎藤 昭年	県馬術連盟	〃	田中 俊正	東諸県郡体育協会
〃	日高 誠紀	県クレール射撃協会	〃	田中 真二	県高等学校体育連盟
〃	新原 祐治	県山岳・スポーツクライミング連盟	〃	児玉 正剛	県高等学校野球連盟
〃	押川 尚生	県ソフトボール協会	〃	日高 徹	県中学校体育連盟
〃	松岡 弘高	県バドミントン協会	〃	原田 茂樹	県小学校体育連盟
〃	小山 武男	県テニス協会	〃	内村 仁子	県レクリエーション協会
〃	内之倉 和彦	県ウエイリフティング協会	〃	福嶋 幸徳	県障がい者スポーツ協会
〃	末廣 芳文	県ハンドボール協会	〃	帖佐 悦男	県スポーツ協会スポーツ医・科学委員会
〃	末吉 龍孝	県自転車競技連盟	〃	川本 忠	公益財団法人宮崎県スポーツ施設協会
〃	淵ノ上 文也	県レスリング協会	〃	今村 一朗	公益財団法人宮崎県観光協会
〃	有馬 秀典	県ライフル射撃協会	〃	佐藤 廣正	県スポーツ推進委員協議会
〃	岡 俊彦	県ボクシング連盟			

令和2年度 事業報告

総 括

公益法人としてより一層の組織体制全般及び事務、事業の推進を図り、加盟団体との連携体制の適正化や事務事業の効率化、競技力向上やタレント発掘事業、スポーツ医・科学事業等の推進において、一定の成果を上げることができた。

- (1) 会議、委員会
 - ・ 定例理事会を3回開催した。
 - ・ 定時評議員会を1回、臨時評議員会を1回開催した。
 - ・ 評議員選定委員会を1回開催した。
 - ・ 専門委員会等（書面決議を含む）
 - 総務委員会、財務委員会を3回開催した。
 - 企画委員会、競技力向上対策委員会を3回開催した。
 - 普及委員会、表彰委員会を3回開催した。
 - ・ 4月に加盟団体事務事業説明会（書面での案内）を開催した。
- (2) 自主財源確保事業
 - ・ 賛助会員募集 法人会員151件、個人会員72件
 - ・ 協賛広告募集 10件
 - ・ オリジナルシャツ販売 311着
 - ・ Sports for all 推進費付き自動販売機 2台

1 競技力向上事業

継続、安定した競技力を目指し、関係機関団体と連携して、事業等の検証、競技団体の組織運営の向上、指導者の育成、県民の理解、支援拡大に取り組んだ結果、各事業で下記のとおり成果を上げることができた。

- (1) 選手強化事業
 - ・ 競技団体41団体、個人14名に補助した。
- (2) ジュニアブリッジ育成事業
 - ・ 競技団体30団体に強化活動費の一部を補助した結果、合同練習、遠征を中心とした小中学生の選抜チームの強化が進んだ。
- (3) 宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト事業
 - ・ 世界や全国の舞台で活躍できるトップアスリートの育成を目指して、126名のアスリート生を対象に、月2回の育成プログラムや専門化を図るためのパスウェイプログラムを実施した。また、県内の小学4年・5年生を対象にオーディションを実施した結果、男女27名の第6期生が認定された。
- (4) 加盟団体組織整備事業
 - ・ 競技団体41団体に強化対策活動費の一部を補助した結果、競技力向上に向けた組織整備が図られた。
- (5) 強化推進事業
 - ・ 本会と競技団体との協議：12月から1月の間、41競技団体と協議した。
 - ・ 選手強化対策会議
 - 第1回：5月14日 中止（書面での案内）
 - 第2回：6月26日、国民体育大会関係競技団体強化担当者を対象に、ひなた武道館大会議室において、九州ブロック大会、国民体育大会についての情報提供を行った。その後スポーツ振興課から今年度新規事業についての説明を行った。

第3回：11月18日、国民体育大会関係競技団体強化担当者を対象に「ニューウェルシティー宮崎」において、小柳勝彦氏（長崎商業高等学校長）をお招きし「長崎国体で天皇杯を獲得した本当の理由」をテーマに講演頂いた。

その後中馬委員長をコーディネーターとし各競技団体と意見交換した。

- ・国民体育大会強化指定証交付：41競技団体1,795名に交付した。
- (6) 国体選手育成強化事業
 - ・大学・社会人スポーツ支援：7団体、個人14名を指定して活動費の一部を補助した。
- (7) アスリート育成支援プロジェクト事業
 - ・トップチーム活用事業：10団体を指定して活動費の一部を補助した。
 - ・メンタルコーチ等活用事業：9団体を指定して活動費の一部を補助した。
- (8) 女性アスリート強化対策事業
 - ・女性アスリート支援事業：6名のママさんアスリートと14名の強化指定選手、トレーニング・コンディショニング支援3競技、県外チャレンジの11競技に対して活動費の一部を補助した。
- (9) 障がい者アスリート支援事業
 - ・個人強化選手：1名に活動費の一部を補助した。
- (10) チームみやざき強化アドバイザー招へい事業
 - ・20競技23種目を指定して活動費の一部を補助した結果、高い指導力や豊富な指導経験を有する全国トップレベルの指導者を「チームみやざき強化アドバイザー」として招聘し、各競技団体の競技力強化を図ることができた。

2 国民体育大会派遣事業

帯同コーチ、ドクター、トレーナーの確保を図り、その派遣等を通して試合環境の整備を推進することができた。

- (1) 国民体育大会九州ブロック大会派遣
 - ・大会中止のため派遣なし
 - ・冬季大会：12月、福岡県で開催の1競技（アイスホッケー）に選手、役員等25名を派遣した。
- (2) 国民体育大会派遣
 - ・大会中止のため派遣なし
- (3) コーチ派遣
 - ・大会中止のため派遣なし
- (4) ドクター、トレーナー派遣
 - ・大会中止のため派遣なし

3 みやざき県民総合スポーツ祭事業

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から大会期日の調整が難しく、参加者が例年に比べ大幅に減少した。
- ・総合開会式は中止とした。
- 大会は3市4町15会場で11競技に1,452名が参加した。

4 スポーツ指導者養成事業

- ・公認スポーツ指導者の活用、活躍に向けて、公認スポーツ指導者資格の啓発、指導者の資質向上に取り組み、地域のスポーツ指導者の取組を支援することができた。
- ・宮崎県スポーツ指導者協議会理事会を3回開催した。（書面開催を含む）
- ・スポーツ指導者研修会は中止とした。
- ・表彰推薦：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰で4名が受賞した。
- ・スポーツ指導者協議会機関誌「躍動みやざき」（第9号）を発行した。
- ・日本スポーツ協会公認スポーツ指導者養成講習会を「軟式野球連盟」「ハンドボール協会」が主管し開催した。それぞれ24名・27名が受講した。

5 地域スポーツ振興事業

競技の普及、競技力の向上、スポーツに対する県民の意識向上のため、加盟団体、報道機関、行政等と連携して、関係事業を推進することができた。

- (1) 総合型地域スポーツクラブ設立、育成支援
 - ・今年度までに16市町村32クラブとなった。
 - ・クラブ連絡会議を2回、県総合型クラブ連絡協議会を2回、県総合型クラブ運営委員会を2回開催した。
 - ・クラブマネジメントセミナーは中止とした。
 - ・クラブ訪問については、62回実施した。
 - ・市町村主管部局を訪問し、啓発活動・設立要請を含め52回実施した。
- (2) 生涯スポーツ普及活動支援事業
 - ・総合型地域スポーツクラブ6クラブ、生涯スポーツ加盟団体2団体に対し、支援を行ったが1クラブ2競技が中止した。
- (3) 加盟団体組織整備補助
 - ・国体競技団体以外の13競技団体と3学校体育団体、15市郡体育協会に補助金を交付した。
- (4) 令和2年度宮崎チャレンジマッチは中止とした
- (5) 名義後援、共催
 - ・加盟団体等の事業、大会の後援：81件（大会中止21件）

6 スポーツ医・科学事業

宮崎県スポーツ協会認定アスレティックトレーナー（AT）養成講習会も9回目を迎え、2027宮崎国スポ・障スポに向けたATの確保、活用を更に推進することができた。

- ・スポーツ医・科学委員会を3回開催した。
- ・ドーピング防止研修会：中止
- ・メディカルチェック：11月22日、国体候補選手（陸上、ボクシング、バドミントン、カヌー、自転車競技、ボート競技、ソフトボール競技、剣道）の8競技100名に実施した。
- ・メディカルチェック報告会：中止（書面での案内）
- ・宮崎県スポーツ協会認定アスレティックトレーナー養成講習会開催：7月から2月の間新規受講者7名、年5回の講習会を実施した。

7 スポーツ顕彰事業

表彰の推薦及び表彰事務が適正、円滑に行われるよう規程等を見直し、整備することができた。

- ・スポーツ功労賞、優秀賞、奨励賞、推進賞：個人31名と5団体を表彰した。
- ・小・中学生を対象にしたスポーツ優秀賞、奨励賞を2月に該当の中・高等学校を訪問し2団体、8名の選手、指導者を表彰した。
- ・スポーツ少年団功労賞：2月の本部長会議にて2団体、個人8名を表彰した。

8 スポーツ少年団事業

団員減少、指導者の資質向上、学校及び地域のスポーツ団体との連携など課題解決に組織全体で取り組んだ。

今年度の登録団数は740団、登録団員は11,884名（前年度779団、13266名）、登録指導者は2,717名（前年度2,875名）で減少傾向であった。

- (1) 宮崎県スポーツ少年団中央大会：中止
- (2) 競技別交流大会：中止
 - ・全国スポーツ交流大会（バレーボール・剣道）：中止
- (3) スタートコーチ養成講習会：中止
- (4) リーダー育成事業
 - ・ジュニアリーダースクール：8月開催予定から12月へ延期したが中止
 - ・九州ブロックスポーツ少年大会：中止
 - ・全国スポーツ少年大会：中止
 - ・リーダー会活動：中止
- (5) 指導者研修会開催：中止
- (6) 母集団育成研修会、ブロック別研修会、リーダー研修会
 - ・母集団育成事業を6市町村が希望したが5市町村が中止。
 - ・初級ジュニアリーダー研修会：中止

9 広報及び記録収集、活用事業

本会、加盟団体及び本県スポーツに対する認識向上のため、SNSの活用などあらゆる機会を利用して情報を発信することができた。

- (1) 広報
 - ・宮崎スポ協発行：県内関係機関に、3月末に1,900部発行した。
 - ・スポーツイベント発行：年4回、ホームページで掲載した。
 - ・HP運用：月平均アクセス数315,452件
 - ・国民体育大会や本会の関わる会議、事業等の様子を即時に情報発信できるようフェイスブックの活用に努めるとともに、HP上に国民体育大会申込専用ページをリンクさせ、情報発信に努めた。
 - ・広報機関誌やHPを利用し、本県スポーツ施設の利用促進のための情報を発信した。

(2) 記録収集、活用

- ・ 本会、加盟団体の事業、活動記録及び本県スポーツ情報を収集、管理し、HP等を通して県民に提供した。

10 スポーツ交流事業

日本スポーツ協会の交流事業：中止

公益財団法人 宮崎県スポーツ協会表彰

公益財団法人宮崎県スポーツ協会スポーツ功労賞・優秀賞・奨励賞・推進賞(令和2年度)の表彰は総合開会式の中止を受けて、郵送にて行いました。

宮崎県スポーツ協会表彰とは、多年にわたり本県体育・スポーツの普及・振興に寄与され、その功績の顕著な方をスポーツ功労者として、また、国内外のトップレベルの大会で優秀な成績を収めた方をスポーツ優秀者として、そして、国内外のトップレベルに準ずる優秀な成績をあげた方にスポーツ奨励者として、県民に感動を与え又は、本県の発展に貢献された方をスポーツ推進者として表彰するものです。受賞者は以下のとおりです。

スポーツ功労賞(個人)



(故)北川 昌典

日南市ラグビーフットボール協会名誉会長
令和元年10月に逝去されるまで71年もの長きにわたり、ラグビーに携わり、普及等に大きく寄与された。



荒川 信一

宮崎県高等学校野球連盟 会長
高野連会長として、本県高校野球のレベル向上に寄与された。



高橋 啓介

NPO法人 日本空手道 敬武會 理事
長年にわたり、宮崎県空手道連盟事業に対し、献身的に貢献された。



若松 雄朗

串間市グラウンド・ゴルフ協会 会長
串間市グラウンド・ゴルフ協会会長、県協会の理事として企画運営に参画し、多大に貢献された。



神田 千代子

宮崎県ママさんバレーボール連盟副理事長
長年にわたりバレーボール協会にて、各種大会の運営等に携わり、貢献された。



大峰 久生

宮崎県剣道連盟都北支部 副支部長
指導者として、また副支部長として剣道の発展・振興等多大に貢献された。



清川 信耶

宮崎県剣道連盟都北支部 理事
指導者として、また副支部長として剣道の発展・振興等多大に貢献された。



福元 学

宮崎県体操協会トランポリン委員長
宮崎県の体操競技の普及と発展に対し、多大な功績を残された。



野中 繁喜

西都市ゲートボール協会 副会長
ゲートボールの普及、指導及び市民の健康増進に貢献された。



宮田 穂積

宮崎陸上競技協会 顧問
協会運営や一般財団法人化への移行等に尽力され、協会の発展に貢献された。



山内 勇紀

宮崎県バドミントン協会 副会長
本県バドミントンの普及と競技力向上等多大に貢献された。



日高 憲幸

宮崎市バドミントン協会 会長
組織の充実・発展並びに競技力の向上に大きく貢献された。

スポーツ功労賞(団体)

- ◆ 綾町グラウンド・ゴルフ協会
生涯スポーツとして親睦と健康維持を第一に組織活動を展開し、ルール、マナー、技術に優れており、リーダー的の地域協会である。
- ◆ 宮崎大学医学部整形外科
柔道競技において事故防止、事故発生時の応急救護処置等多大に貢献されている。

スポーツ優秀賞(個人)



池田 政史

日向倶楽部
日本スポーツマスターズ2019ぎふ清流大会
テニス競技 男子ダブルス第1位



前田 直樹

日向グリーン
日本スポーツマスターズ2019ぎふ清流大会
テニス競技 男子ダブルス第1位



丸山 城志郎

株式会社 ミキハウス
GSデュッセルドルフ大会 優勝
全日本柔道選抜体重別大会 優勝
柔道世界選手権大会 優勝



内之倉 太純

県立みやざき中央支援学校
第37回全日本マスターズ
ウエイトリフティング競技選手権大会
40男子+109kg級 優勝



中嶋 梨香子

日本体育大学
第11回全日本女子選抜
ウエイトリフティング選手権大会
女子64kg級 準優勝



廣田 彰

宮崎大学名誉教授
第9回世界シニア選手権大会
75歳以上シングル3位 ダブルス3位
第36回全日本シニアバドミントン選手権
大会 75歳以上シングルス 優勝



興梠 サラ

旭食品株式会社 海外事業本部 営業部
第54回全日本サーフィン選手権大会
ウイメンクラス 2位
最終ランキング 1位



松本 哲也

ゲストハウス・ナミマチ
第54回全日本サーフィン選手権大会
シニアクラス2位



村山 紘太

旭化成陸上競技部
第103回日本陸上競技選手権大会
男子10,000m 3位 28分25秒95



吉野 健太郎

大阪体育大学陸上競技部
2019日本学生陸上競技個人選手権大会
男子ハンマー投げ 3位 64m48



宮下 慎太郎

安藤塾
第32回全国ラージボール卓球大会
一般男子シングルス 第2位



北林 健治

都城工業高等学校
第19回アジア選手権大会
ハンドボール競技 第3位



甲斐 昭人

トヨタ車体BRAVEKINGS

第19回アジア選手権大会ハンドボール競技
第3位

島田 稔也

旭化成電子株式会社

全日本サーフィン連盟ランキング2位

スポーツ優秀賞(団体)

- ◆ 都城バスターズ ソフトボールクラブ
第16回全日本一般男子ソフトボール大会 準優勝
- ◆ 特定医療法人浩洋会田中病院
天皇賜杯第74回全日本軟式野球大会 準優勝
- ◆ 日本サーフィン連盟宮崎支部
第54回全日本サーフィン選手権大会 団体 第2位

スポーツ奨励賞(個人)



石川 航大

京都産業大学

2019 西日本学生選手権トラック
自転車競技 チームパシュート 優勝

市田 孝

旭化成陸上競技部

第74回九州陸上競技選手権大会
男子5,000m 優勝 14分00秒36

黒木 雄太郎

WAVE宮崎

第74回九州陸上競技選手権大会
男子三段跳び 優勝 15m82

清山 ちさと

いちご株式会社陸上競技部

第74回九州陸上競技選手権大会
女子100mハードル 優勝 13秒44(大会新記録)

中村 義浩

宮崎県庁 農政水産部 南那珂農林振興局

第2回EAST JAPAN SURFING GAMES
グラウンドマスターズクラス 優勝

日本スポーツ少年団・県スポーツ少年団 指導者・単位団表彰

日本スポーツ少年団指導者顕彰3名

宮崎県スポーツ少年団功労賞(個人) 5名 宮崎県スポーツ少年団功労賞(団体) 2団体

令和2年度日本スポーツ少年団指導者表彰、宮崎県スポーツ少年団指導者・単位団表彰が、2月26日(金)宮崎県スポーツ少年団本部長会で行われました。

多年にわたり本県スポーツ少年団の発展に寄与され、その功績の顕著な方または団体に贈られたこの表彰を、宮崎県スポーツ少年団原田種英本部長が表彰を行いました。

日本スポーツ少年団指導者顕彰



川嶋 時正
都城市スポーツ少年団本部
(都城市)



田中 幸一
都城妻ヶ丘スポーツ少年団
(都城市)



年見 健一
くどもサッカースポーツ少年団
(宮崎市)

宮崎県スポーツ少年団指導者表彰



黒木 靖恵
日向市なぎなたひむか
(日向市)



右田 勝吉
財光寺少女バレーボールクラブ
(日向市)



鈴木 幸司
通山野球
(川南町)



野村 憲一
陵武館剣道
(国富町)



河野 和久
和道流空手道至空塾
(宮崎市)

宮崎県スポーツ少年団単位団表彰



清武柔道スポーツ少年団(宮崎市)



FC志和池サッカースポーツ少年団(都城市)

第3回選手強化対策会議

令和2年11月18日、ニューウェルシティ宮崎において、第3回選手強化対策会議が開催されました。

会議では、中馬光久競技力向上対策委員長、押川幸廣県教育庁スポーツ振興課長のあいさつの後、スポーツ振興課競技担当嶋岡指導主事より、「2027国民スポーツ大会に向けた競技団体基本計画及び年間計画の作成について」説明が行われました。

また、講演では、小柳勝彦氏(長崎市立長崎商業高等学校長)を講師に招き、「長崎国体で天皇杯を獲得した本当の理由(わけ)」～2027宮崎国スポへの提言～という演題で講演され、今後の競技力向上の進め方や強化対策会議の在り方など、大変参考になりました。

後半の意見交換会では、中馬光久競技力向上対策委員長をコーディネーターとし、競技団体の現状や課題、今後新たに取り組まなければならない強化事業、ジュニアアスリートの強化等、熱心な意見交換が行われました。講演に引き続き、オフザーバーとして参加して頂いた小柳勝彦氏からは、強化の中心は競技団体であって、行政等はそのサポート機関である。競技団体が受け身にならず、積極的にPDCAサイクル(計画→実行→評価→改善)を行うことで、競技力強化が一気に進んでいくと助言を頂きました。



国民体育大会冬季大会報告

国民体育大会第40回九州ブロック大会

■アイスホッケー競技会

●期 日/令和2年12月12日(土)～12月13日(日)

●会 場/福岡県 福岡県立総合プールのスケートリンク

成年男子

1回戦

宮崎県 0 $\left\{ \begin{array}{l} 0-6 \\ 0-7 \\ 0-8 \end{array} \right.$ 21 福岡県

※宮崎県は代表権獲得ならず



第76回国民体育大会冬季大会

■スキー競技会

●期 日/令和3年2月17日(水)～2月21日(日)

●会 場/秋田県 鹿角市 花輪スキー場

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

冬季大会男女総合成績(天皇杯得点)

	参加点	競技得点	合計点
アイスホッケー	10	0	10
スキー	0	0	0
総合	10	0	10

令和2年度みやざき県民総合スポーツ祭

本年度は、新型コロナウイルス感染症による感染拡大を防止する観点から、令和2年6月5日(土)ひなた木の花ドームにて予定していました、みやざき県民総合スポーツ祭の総合開会式は中止となりました。コロナ禍の中ではありましたが、3市4町15会場で9日間にて11競技12種目が実施されました。

参加者総数は1,452名と、例年より大幅に減少する結果となった。

【競技の様子】



～ アーチェリー競技 ～



～ ソフトテニス競技 ～

令和2年度 みやざき県民総合スポーツ祭 団体種目 結果一覧

種目	部門等		1位	2位	3位
ソフトテニス	シニア	男子	宮崎市A	宮崎市B	日南市A 宮崎市C
		女子	都城地区A	宮崎市A	延岡市A 西都市
	男子	一般の部	都城地区A	宮崎市A	日南市A 宮崎市B
	女子	一般の部	都城地区	宮崎市A	日南市 児湯郡
サッカー	男子	一般	児湯郡	日向市	宮崎市 都城市(県L選抜)
		さわやかAバート	延岡市		
		さわやかBバート	日向市		
相撲	一般1部		都城市	延岡市	宮崎市
	青年の部		西臼杵郡	延岡市	
	一般2部		えびの市	西都市	
体操・新体操	男子	体操	都城市	宮崎市	
	女子	体操			
	男子	新体操	えびの市	宮崎市	
馬術	成年団体障害飛越競技		東諸県郡	宮崎市	
	成年団体障害飛越競技		東諸県郡	宮崎市	
	総合		宮崎市	東諸県郡	
自転車	総合		宮崎市	都城市	日南市
アーチェリー	男子総合		延岡市	宮崎市	西臼杵郡
	女子総合		延岡市	宮崎市	
綱引	混合		日南市(日南引っ張られ隊)		
	男子の部		門川町(Gold.K・N)		
ユニカール	一般の部		新富町(新富メローンズ)	西都市(西都はにわーず)	新富町(フルーツマックス)
卓球バレー	チーム		宮崎市 (花山手卓球バレークラブA)	国富町 (コスモスA)	延岡市 (延岡卓球バレークラブA)
	交流の部		宮崎市 (花山手卓球バレークラブB)		
スポーツウエルネス吹き矢	チーム		都城市(都城おきみずA)	宮崎市(宮崎みなみ)	三股町(三股みまわり)

令和2年度 みやざき県民総合スポーツ祭 個人種目 結果一覧

競技名	部門等		1位		2位		3位		
相撲	一般の部	1部	加藤 順也	延岡市	別府 駿光	都城市	堀 慎太郎	西臼杵郡	
		2部	稲村 豊	えびの市	中留 幸司	えびの市	川崎 孝幸	西都市	
	青年の部		中山 力哉	延岡市	吉原 健路	宮崎市	河野 雅彦	宮崎市	
	交流戦の部	小学1年生	堀 瑠琉華	高千穂小	重黒木しゆん	延岡道場			
		小学2年生	木浦 大輝	西都少年	山下 颯涼	延岡道場	地田 惺太	西都少年	
		小学3年生	轟木結愛花	延岡道場	堀 姫萌華	高千穂小	鈴木 翔樹	延岡道場	
		小学4年生	徳満星之介	えびのクラブ	橋口 颯汰	西都少年	鈴木 幸樹	延岡道場	
		小学5年生	甲斐 陽太	延岡道場	森本 大心	延岡道場	加藤 禅士	宮崎少年	
		小学6年生	新名美虎斗	えびのクラブ	村角 大翔	宮崎少年	森本 大心	延岡道場	
		中学生	河野 宏輝	松恵山道場	富永 陸人	松恵山道場	下田 大樹	松恵山道場	
体操・新体操	体操競技	男子	個人総合	前田 良二	都城市	溝口 拓也	都城市	山領 一憲	都城市
			ゆか	前田 良二	都城市	山領 一憲	都城市	増田 彰久	宮崎市
			跳馬	溝口 拓也	都城市	山領 一憲	都城市	前田 良二	都城市
			鉄棒	前田 良二	都城市	溝口 拓也	都城市	山領 一憲	都城市
	女子	個人総合	宇都宮咲樹	宮崎市	上村 裕子	三股町			
		ゆか	宇都宮咲樹	宮崎市	上村 裕子	三股町			
		跳馬	宇都宮咲樹	宮崎市	上村 裕子	三股町			
		平均台	宇都宮咲樹	宮崎市	上村 裕子	三股町			
	新体操競技	男子	スティック	中野 辰哉	小林市	中野 雄貴	小林市	竹本 仁	えびの市
			クラブ	竹本 仁	えびの市				
		女子	リボン	山下 みなみ	宮崎市	和田 萌佳	宮崎市		
			クラブ	加藤 愛	宮崎市				
馬術	市郡対抗競技	馬場馬術競技(L1課目)	安藤 潤	宮崎市	松田 麻美	東諸県郡	井上 優子	宮崎市	
		小障害飛越競技(L級A):個人	高橋 勝馬	宮崎市	松田 靖久	東諸県郡			
		成年中障害飛越競技(M級O)	安藤 潤	宮崎市					
	オープン競技	低障害飛越競技	廣野 温輝	綾馬事公苑	武田 彩七	宮崎大宮高校	小野 純平	宮崎大学	
		小障害飛越競技L級A	石川 一成	宮崎県馬術連盟	小田 大	宮崎県馬術連盟	松田 靖久	綾馬事公苑	
		小障害飛越競技L級A	高橋 勝馬	JRA宮崎育成牧場	長友 希夢	本庄高校	小田 大	本庄高校	
		小障害飛越競技L級B	長友 希夢	本庄高校	岩間 志保	ウエルネスシティーホースクラブ	高橋 勝馬	JRA宮崎育成牧場	
		小障害飛越競技L級B	長友 希夢	綾馬事公苑	廣野 温輝	綾馬事公苑	根上翔純真	宮崎大宮高校	
		中障害飛越競技M級D	石川 一成	宮崎県馬術連盟	井上 優子	宮崎大学	竹内 義崇	ウエルネスシティーホースクラブ	
	自転車	200mタイムトライアル	女子	60歳以上	東 有子	都城市			
40歳代				金丸 美保	宮崎市	黛 洋弓	宮崎市		
18~29歳				水俣 友花	西都市	八田 京子	宮崎市		
男子			60歳以上	落合 博	宮崎市	今任 輝代慶	宮崎市	大有 伸一郎	日南市
			50歳代	森部 陽一郎	宮崎市	山田 智道	日向市	島田 幸典	宮崎市
			40歳代	高野 偉大	延岡市	加藤 匠	宮崎市	羽根田 大	宮崎市
		30歳代	小田原 誠	日南市					
		18~29歳	村山 健太郎	都城市					
		小学生	仙波 那琉	大宮小	吉丸 虎太	三股西小	飯干 智小	E-STAR	
500mタイムトライアル		女子	60歳以上	東 有子	都城市				
			40歳代	金丸 美保	宮崎市	黛 洋弓	宮崎市		
			30歳代	水俣 友花	宮崎市	八田 京子	宮崎市		
		男子	60歳以上	落合 博	宮崎市	今任 輝代慶	宮崎市	大有 伸一郎	日南市
			50歳代	泊 義浩	宮崎市	赤木 栄次	日向市	吉野 和美	宮崎市
			40歳代	細田 聡	日南市	日高 智宏	日南市	高野 偉大	延岡市
1kmタイムトライアル		30歳代	長友 俊之	都城市	小田原 誠	日南市	鍋倉 史一	宮崎市	
		18~29歳	村山 健太郎	都城市	和田 侑志	三股町	岩丸 琉太郎	宮崎市	
		エリミネーション	池田 健	都城市	吉野 和美	宮崎市	森部 陽一郎	宮崎市	
		スプリント	長友 俊之	都城市	本田 謙一	三股町	岩倉 稔典	宮崎市	
10kmポイントレース		藤村 一磨	三股町						
	チームスプリント	池田 健	都城市	日高 智宏	日南市	藤村 一磨	三股町		
		長友 俊之	都城市	細田 聡		吉丸 虎太			
		宮副 雅晶	都城市	小田原 誠		和田 侑志			
スポーツ吹矢	男子	6M	園田 昌義	都城市	萩原 利文	都城市	東條 拓也	三股町	
		8M	島村 芳幸	都城市	柏木 健一郎	都城市	野口 泰文	都城市	
		10M	東條 眞生	三股町	山崎 純	宮崎市	柿木 邦利	宮崎市	
	女子	6M	加藤 美保子	宮崎市	佐々木 沙希	三股町	吹上 睦子	都城市	
		8M	桜田 昌子	宮崎市	柿木 美理子	宮崎市	中山 ひとみ	都城市	

世界へはばだけ!

ワールドアスリート 発掘・育成プロジェクト

今年度で5年目終了!

2027年宮崎国スポで躍動するアスリートが着実に育っています!

●5期生27名が始動!

令和2年6月20日(土)、宮崎ワールドアスリート5期生最初のプログラムが行われました。

本来であれば前年度の3月に認定式を行います。新型コロナウイルス感染症によるプログラムの中止に伴い、例年より約3か月遅いスタートとなりました。5期生として県内の小学5年生20名、小学6年生7名、計27名が認定されました。

オリエンテーション後に、さっそく他のアスリート生とともに今年度の育成プログラムがスタートし、県認定アスレティックトレーナーによる「自宅課題」の指導がありました。先が見えない不安の中でしたが、5期生たちは目を輝かせながら熱心に取り組みました。



オリエンテーション



自宅課題

●6期生オーディション(27名を認定!!)

令和2年10月17日(土)・18日(日)、宮崎県体育館において、6期生のオーディションを実施しました。今回は、例年実施していた書類による1次選考を行わず、体力・運動能力等を測定する実技のみのオーディションとしました。応募数126名のうち、厳しい審査を経て、小学校4年生21名、5年生6名、合計27名が認定されました。令和3年4月から、中学校3年生までの5年間、トップアスリートになるための様々な育成プログラムを受講します。



オーディション

●能力開発プログラム

身体的能力開発プログラムは、コーディネーショントレーニング・SAQトレーニング・コンディショニング・セルフケアを実施しました。国内トップコーチの指導のもと、身体と頭脳を駆使したトレーニングを通して多面的な能力向上を目指しました。

知的能力開発プログラムは、アスリート食・コミュニケーション・メンタルトレーニング・目標設定・女性アスリート・オープンマインド・デュアルキャリア教育を実施しました。プログラムを通してトップアスリートとして必要な資質や能力を習得することができました。



コーディネーショントレーニング



コンディショニング・セルフケア

トレーニング理論



アスリート食

コミュニケーション

デュアルキャリア教育



メンタルトレーニング

目標設定

オープンマインド



ロジカルシンキング(未実施)

女性アスリート

●競技種目体験プログラム

今年度は多くのプログラムが中止となってしまいましたが、例年は、県内の競技団体等と連携を図りながら、小学校5年生から中学校2年生までの4年間かけて、21競技を2回体験します。日頃のスポーツ活動では体験できない様々な競技との出会いが、自分の可能性を高め、今後の競技選択につながります。

【今年度実施した競技】



ライフル射撃



ホッケー



なぎなた



自転車



バレーボール



レスリング



スポーツクライミング



ボクシング



タグラグビー



サッカー



フェンシング

【中止となった競技】



ボウリング



トランポリン



水球



セーリング



カヌー



ハンドボール



ソフトボール



ボート



陸上競技



ウェイトリフティング

●パスウェイプログラム

WAPシニア(中学3年)が、高い専門性を有する各競技団体指導者による適性評価(トライアウト)を実施し、高校期に向けての競技選択につなげます。競技決定後は、最終目標を展望した今後の活動計画について発表を行いました。また、今年度新たに本プロジェクトの修了生による「修了生講話」も実施されました。



トライアウト



活動計画の発表



修了生講話

●ファミリープログラム

子どもたちの能力を効果的に高めるためには、日常的な指導の充実が重要であることから、子どもたちをサポートする保護者に対して実施しています。調理実習は中止となりましたが、栄養学・メンタル・社会人アスリートの講話を行いました。



ファミリー講話



調理実習(中止)

●サマーキャンプ(中止)

例年、WAPキッズ(小学校5年生・6年生)が8月に実施していますが、今年度は中止となりました。学年の枠を超えた集団生活を通じてアスリートとしての必要な資質を身につけること等を目的としています。



●自宅課題カリキュラム

県内認定アスレティックトレーナーの方々の協力を得て、発達段階に応じたトレーニングの提供をしていただき、日常の体づくりに活用することができました。また、メディカルチェックでは、けが等の早期発見ができ、早期治療につなげることができました。



令和3年度宮崎県スポーツ少年団事業計画

令和3年3月現在

令和3年度の事業計画(案)を掲載します。新型コロナウイルス感染症の影響により変更する場合があります。宮崎県スポーツ協会宮崎県スポーツ少年団ホームページにて随時ご確認ください。

第57回宮崎県スポーツ少年団中央大会期日及び会場

競技名	期日	場所
ソフトテニス	7月3日(土)	ひなた宮崎県総合運動公園 庭球場
ソフトボール	7月4日(日)	ひなた宮崎県総合運動公園 運動広場
バドミントン	7月4日(日)	新富西体育館
少林寺拳法	7月4日(日)	三股町武道体育館
ミニバスケットボール	7月10日(土)	綾町民体育館、生目の杜体育館、天ヶ城体育館
テニス	7月10日(土)	宮崎市清武総合運動公園 テニス場
軟式野球	7月11日(日)	ひなた宮崎県総合運動公園軟式A、ひなたひむかスタジアム、生目の杜運動公園多目的広場A
なぎなた	7月11日(日)	ひなた武道館 副道場
水泳	7月11日(日)	ひなた宮崎県総合運動公園 水泳場
少林寺流空手道	7月11日(日)	ひなた武道館 剣道場
剣道	7月11日(日)	ひなた武道館 主道場
陸上競技	7月11日(日)	ひなた宮崎県総合運動公園 陸上競技場、第2陸上競技場
柔道	7月22日(木)	ひなた武道館 柔道場
ハンドボール	7月22日(木)	宮崎県体育館
バレーボール	7月22日(木)	綾てるはドーム、アリーナくにとみ
空手道	7月22日(木)	ひなた武道館 主道場
サッカー	7月22日(木)	ひなた宮崎県総合運動公園 運動広場

宮崎県 会議・研修会・交流大会関係

期日	曜日	行事名
4月16日	金	第1回宮崎県スポーツ少年団中央大会実行委員会
5月12日	水	第1回常任委員会・事務担当者・本部長会
		第1回宮崎県スポーツ少年団中央指導者協議会
6月7日	月	第2回宮崎県スポーツ少年団中央大会実行委員会
7月11日	日	第57回宮崎県スポーツ少年団中央大会開会式【ひなた武道館】
8月27日	金	第3回宮崎県スポーツ少年団中央大会実行委員会
9月4日～5日	土～日	宮崎県スポーツ少年団ジュニアリーダースクール 【青島青少年自然の家】
10月20日	水	第2回常任委員会・第2回宮崎県スポーツ少年団中央指導者協議会
11月7日	日	第1回宮崎県スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会 ※オンラインで開催予定
12月4日	土	第2回宮崎県スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会 ※オンラインで開催予定
2月16日	水	第2回事務担当者会
2月25日	金	第3回常任委員会・第2回本部長会

九州 会議・研修会・交流大会関係

※九州交流大会については、期日の変更もありえます。

期 日	曜 日	行 事 名	開催県
4月22日・23日	木・金	九州ブロックスポーツ少年団連絡協議会	沖縄県
8月1日～3日	日～火	九州ブロックスポーツ少年大会	宮崎県
8月6日～8日	金～日	九州スポーツ少年団 サッカー交流大会	長崎県
8月6日～8日	金～日	九州スポーツ少年団 バレーボール交流大会	福岡県
8月14日～15日	土・日	九州ブロック少年団 空手道交流大会	鹿児島県
8月27日～29日	金～日	九州スポーツ少年団 ミニバスケットボール交流大会	佐賀県
8月27日～29日	金～日	九州スポーツ少年団 軟式野球交流大会	熊本県
10月23日・24日	土・日	九州ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会	大分県
11月13日・14日	土・日	九州ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	沖縄県
2月3日・4日	木・金	令和2年度日本スポーツ少年団九州ブロック会議	沖縄県

全国 会議・研修会・交流大会関係

※オンラインでの開催に変更する場合もある。

期 日	曜 日	行 事 名	開催県
未定		第1回日本スポーツ少年団都道府県事務担当者会議	東京都
5月29日	土	第1回日本スポーツ少年団委員総会	東京都
6月11日・12日	金・土	全国スポーツ少年団指導者協議会	オンライン
6月12日・13日	土・日	全国スポーツ少年団リーダー連絡会	オンライン
6月13日	日	第26回スポーツ少年団指導者研究大会 第4回ジュニアスポーツフォーラム	オンライン
8月13日～16日	金～月	第43回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	沖縄県
9月18日～20日	土～月	第59回全国スポーツ少年大会	東京都
6月下旬～9月		シニア・リーダースクール	オンライン
10月～11月頃		スタートコーチインストラクター(スポーツ少年団)養成講習会	大阪府
3月上旬		第2回日本スポーツ少年団委員総会	東京都
3月下旬		第44回全国スポーツ少年団剣道交流大会	高知県
3月27日～30日		第19回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	島根県

国際交流事業関係

期 日	曜 日	行 事 名	開催県等
5月中旬		日独スポーツ少年団同時交流幹事県説明会 (令和3年度九州Ⅰ・Ⅱブロック幹事県:大分県)	東京都
5月3日～5日	月～水	日独スポーツ少年団同時交流(派遣指導者)事前研修会	東京都
5月4日・5日	火・水	日独スポーツ少年団同時交流(派遣団員)事前研修会	
6月中旬 (予定)	土・日 (予定)	日独スポーツ少年団同時交流(派遣指導者・団員) 九州ⅠⅡグループ事前研修会	指導者の県 にて実施
7月25日(結団式) 7月26日～8月5日	日 月～木	日独スポーツ少年団同時交流(派遣)	オンライン での交流
8月10日～19日	火～木	独スポーツ少年団同時交流九州Ⅰ・Ⅱグループ(大分県受入) ※本年度に限り九州で1県のみ受入	オンライン での交流

コロナ禍におけるスポーツ活動の注意点



宮崎県スポーツ協会スポーツ医・科学委員会委員
宮崎大学医学部附属病院整形外科

田島 卓也

プロスポーツチームや学校の部活動においても新型コロナウイルス(以下、コロナ)の感染が全国的にもみられています。一般的には手洗い(石鹸・アルコール消毒)、咳エチケット、マスクの着用そして密集・密接・密閉の3密を防ぐことが推奨されています。一方、スポーツ現場においては寮生活、更衣室内での密な環境、接触を伴う練習・試合、屋内スポーツ(換気の問題)、遠征、をはじめ集団行動が多く3密を避けるには程遠い環境といえます。コロナ環境下でのスポーツ活動ガイドラインとして日本スポーツ協会(JSPO)のHPに各競技団体のガイドラインが掲載されていますのでご参照ください。

コロナ環境下においては「感染陽性にならないこと」と同様に「濃厚接触者にならないこと」が重要です。チーム内に陽性者が発生した場合、十分な対策をしていないとチーム全員が濃厚接触者に認定されるケースもあります。いったん濃厚接触者に認定されてしまうと「**感染者との接触後14日間は健康観察と不要不急の外出を控えること、保健所の指示に従うこと**」が求められてしまいます。濃厚接触者を認定するのは地域の保健所です。いくら「自分は大丈夫。マスクしていたから」などと申し立てても客観的な指標により認定されるので、日常から十分な対策を立てておくことが重要になります。しかしながら同様の案件でも保健所の判断が地域ごとに異なる可能性もあります。さらにスポーツのプレーの特性による判断についても保健所ごとでばらつきがあることも事実です。

感染しないこと、濃厚接触者に認定されないことを念頭に下記の事項に留意しましょう。

A: 体調不良者のスクリーニング: 体調が悪い人は参加させない

図1は厚生労働省およびアメリカ感染症学会の指標をもとに策定したジャパンラグビートップリーグの体調不良者のスクリーニング事項です。毎日チェックし該当する選手・スタッフは参加してはなりません。

体調不良者の確認

- ① 37.5℃以上の発熱
- ② 主項目1つ + 他に1つ以上の項目に該当
- ③ 副項目が3つ以上該当

主項目⇒強い倦怠感、息苦しさ、味覚/嗅覚異常
副項目⇒37.0℃以上の発熱、咳・くしゃみ・鼻汁
腹痛・下痢、吐き気・嘔吐、食欲低下、頭痛

①②③に該当する選手・スタッフは体調不良者として扱う

B: ミーティング時の留意点

- 屋外を推奨する
- 屋内でのミーティングを行う場合には1名あたり4m²のスペースを確保する
- すべての参加者はマスクを使用する
- 手指の手洗い、消毒の励行
- 過去14日以内の移動歴の確認、移動歴があるひとは過去14日の健康チェック

C: トレーニング中の留意点

- 2mのソーシャルディスタンスを保つ
- 握手・抱擁は避ける。大声を出さない
- 指導者はマスクを着用する。選手は熱中症の注意しながら適宜着用する。
- こまめな手洗い、消毒を実施する
- 人数ごとにグループ分けし時間をずらして練習する。グループごとにコーチを固定する
- ドリンク、タオルは共有しない
- 唾や痰を吐かない。目・鼻・口を触らない
- 体調不良者がいたら直ちに中止する

D: 周辺環境の留意点

- トレーニング会場での飲食やシャワーの禁止
- 使用する機器・用具は可能な限り共有せず、消毒を適宜行う
- 手洗い場には石鹸・ペーパータオル・個人タオルを準備
- 更衣室は密にならないようにする。使用は短時間で着替えのみ。換気もおこなう
- ドアノブなども適宜消毒する
- トイレも消毒をおこない、石鹸・ペーパータオルを準備し換気もおこなう
- ゴミの廃棄はビニール袋に入れて密閉する。回収するひとはマスクと手袋を着用する

D: 周辺環境の留意点

- トレーニング会場での飲食やシャワーの禁止
- 使用する機器・用具は可能な限り共有せず、消毒を適宜行う
- 手洗い場には石鹸・ペーパータオル・個人タオルを準備
- 更衣室は密にならないようにする。使用は短時間で着替えのみ。換気もおこなう
- ドアノブなども適宜消毒する
- トイレも消毒をおこない、石鹸・ペーパータオルを準備し換気もおこなう
- ゴミの廃棄はビニール袋に入れて密閉する。回収するひとはマスクと手袋を着用する

E: 移動時における留意点

- 自動車の相乗りは極力避ける（同居している場合を除く）
- 公共交通機関を利用する際は、混雑時を避ける
- 飛行機、電車、バス等の各機関の対策を順守し社会的距離を確保する

以上、どうでしょうか？「そんなの当たり前のこと。すでに知っている」と思っているかもしれませんが。しかしながら実際には2020年度の全国高校ラグビーフットボール大会および全国高校サッカー大会に出場した多くのチームの監督さんがマスクを顎にずらして鼻と口が露出した状態で、大声で叫んでいる姿がTVでも放映されています。グラウンドに唾を吐くシーンも映っています。「知っていること」だけでは意味がありません。「知っていることを実践すること」が重要になります。選手のみならず関わる全てのスタッフが「一丸」となって感染予防に邁進しコロナ禍でのスポーツ活動を継続していきましょう。

加盟団体便り

◇宮崎県障がい者スポーツ協会の紹介

1964年の東京オリンピック・パラリンピックを契機として、中村 裕先生などのご尽力により産声を上げた我が国の障がい者スポーツは、国を挙げて「共生社会」の実現を目指す中で、今夏の東京オリンピック・パラリンピック開催を控え、報道等に取りあげられる機会が格段に増えてきました。

本協会は、昭和48年に宮崎県福祉生活部障害看護課（現在の宮崎県福祉保健部障がい福祉課）の委託を受けて障がい者スポーツの振興業務を担うため、「宮崎県身体障害者スポーツ協会」として設立されました。その頃、当協会の最も大きな事業である県大会は身体障がい者のみが参加する大会でした。

その後、平成14年度に全国障害者スポーツ大会で知的障がい者が参加を認められたことを受け、当協会は「宮崎県障がい者スポーツ協会」として改称し、現在は3障がい（身体・知的・精神）を対象としたスポーツの振興を図る団体として活動しています。

事業内容

本協会の事業は、主に以下の通りです。

- 宮崎県障がい者スポーツ大会の開催
- 全国障害者スポーツ大会への派遣
- 各種スポーツ大会の参加助成
- 指導者養成講習会（初級障がい者スポーツ指導員養成）の開催
- 障がい者クラブ活動助成（現在、県内に35団体が活動）
- 市町村を対象とした障がい者スポーツ教室の開催
- 2027全国障害者スポーツ大会開催準備事業
- 出前講座の実施
- 障がい者スポーツ用具の貸し出し

◇宮崎県障がい者スポーツ大会の目的及び変遷

宮崎県障がい者スポーツ大会の目的

障がい者スポーツの祭典であるこの大会を通して、障がい者の社会参加を推進するとともに、県民の障がいに対する理解を深めることを目的としています。

そして、この県大会は全国障害者スポーツ大会の選考会も兼ねています。

参加資格は、身体障がい者の部、知的障がい者の部、精神障がい者の部の3部となっています。身体に障がいのある方は、障がいの種類や程度によって競技成績が大きく影響されるので、競技ごとに障害をいくつかに分け、同じ障害区分の人たちと競技するようにしています。

また、年齢も競技成績に影響があるので、身体障がい者の部は2区分（1部：39歳以下、2部：40歳以上）、知的障がい者の部は3区分（少年19歳以下、青年20～35歳、壮年36歳以上）としています。

この県大会は、毎年5月第2週の日曜日にひなた県総合運動公園を中心とした会場に県内各地から毎年1400名程の参加者を迎えて開催しています。

宮崎県障がい者スポーツ大会の変遷

〈昭和38年〉

第1回宮崎県身体障害者スポーツ大会の開催

〈昭和56年〉

第1回宮崎県知的障害者スポーツ大会「ふれあいと友情の体育祭」開催

※平成17年：第25回大会まで実施

〈平成5年〉

第1回宮崎県精神障害者スポーツ大会「こころんピック」開催

〈平成14年〉

身体障害者と知的障害者の部合同の大会として「第1回宮崎県障害者スポーツ大会」の開催

〈平成18年〉

精神障害者の部を加え、3障害合同の大会として、第5回宮崎県障害者スポーツ大会開催

◇障がい者スポーツ教室

〈開設目的〉

日常性の中で実践できるスポーツ・レクリエーション活動の普及と充実を図り、障がい者の体力維持増進のため実施

〈開設期間〉

9月1日～11月31日の間に、市町村と期日・日程・種目等を調整し実施

〈実施種目〉

フライングディスク、ボッチャ、オーバルボール、カローリングなどのニュースポーツを実施

◇指導者養成講習会(初級障がい者スポーツ指導員養成)

スポーツを愛好する障がい者には、その人を支える力が不可欠です。当協会では、毎年指導員養成講習会を開催し指導員の発掘・育成を図っています。資格を取得した指導員は、県大会の役員、市町村で実施されるスポーツ教室の補助、各種障がい者スポーツ行事の補助等を意欲的に取り組んでいます。

今後、2027年全国障害者スポーツ大会に向けても障がい者スポーツ指導員を数多く育成することが急務となりますので、医療関係者、学校関係者、競技団体等に呼びかけていきたいと思っております。

〈開催時期と講義内容〉

11月後半から12月初旬にかけて、土日の4日間で開催し、講義(10)と実技(2)を実施しています。

◇全国障害者スポーツ大会に向けて

2027年全国障害者スポーツ大会(実施競技: 7団体競技、7個人競技)開催に向けて、令和2年度から3年間で未普及団体競技の整備を実施することになりました。実施競技は、ソフトボール(知的)、サッカー(知的)、フットベースボール(知的)、バレーボール(聴覚)の4競技です。

最初に取り組んだのは、競技を運営するスタッフの人選でした。7年後の大会を見据えて選手の発掘や育成を考えると10代の選手が中心となるので、特別支援学校の先生方の力が不可欠となります。幸い県内14校の特別支援学校職員の中には競技の専門性を身に付けた職員が数多くいます。学校の授業や生活面でも子どもたちの様子を把握しているのでスタッフとしては最適でした。

同時に今後は競技団体とも連携して競技力向上や指導者育成、審判員育成を図る必要から、県スポーツ協会加盟競技団体からもスタッフとして協力していただくことにしました。

当初は6月から打ち合わせ会や体験会を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けスタートは大きく遅れました。そんな中、感染状況を見ながら9月に第1回体験会を実施し、年度内に各競技3回の体験会を開催することが出来ました。

参加者は、小学生から社会人まで幅広く、しかもスポーツの経験値も多様であったためスタッフも実施内容を試行錯誤しながら工夫を凝らして取り組みました。各競技スタッフで共通していたのは、“まずは参加者がスポーツを楽しみ、次も参加してみたい”という気持ちを与えることだということでした。

健常者スポーツと障がい者スポーツの大きな違いは、障がい者スポーツ参加者には参加者を支える力が不可欠ということです。会場までの移動手段から人とのコミュニケーションの取り方、指導技術・知識の伝達方法など様々な特別な支援や関わり方が必要となります。

そのために、スタッフやボランティアには参加者に寄り添い、支えていながら一人一人の目標達成や自立を支援していく気持ちが求められます。

今回の体験会では、どの競技も参加者の保護者や施設職員の皆様から“子どもが楽しく参加させてもらって嬉しい”と感想をいただくことが出来ました。

このように、選手を取り巻く環境を整備しつつ全国障害者スポーツ大会開催までには、選手の競技力向上、指導者の育成、審判員の育成、ボランティア養成等、多くの課題が山積していますが、関係機関の皆さまの力をお借りしながら大会の成功に向けて一歩ずつ進んでいきたいと思っております。

そして、全国障害者スポーツ大会が終わった後、障がい者スポーツの気運が高まり、県内各地で障がいのあるなしに関わらずスポーツを享受できる環境が整っていくことが最も大切なことだと思います。

これまでご支援いただいた宮崎県教育委員会、宮崎県スポーツ協会、宮崎日日新聞社、NHK宮崎放送、MRT宮崎放送、テレビ宮崎、宮崎太陽銀行の皆様から感謝を申し上げます。

〈令和元年度県大会開会式〉



〈スポーツ教室〉



〈障がい者スポーツ指導員養成講習会〉



〈チャレンジドスポーツ〉



感謝すること・学び続けること

みなみ こう た 南 光 太 監督

競技種目／サッカー

指導チーム／宮崎日本大学高等学校男子サッカー部

出身／大分県大分市

出身校／大分市立明野西小学校→明野中学校→長崎県立国見高等学校

その後／水戸ホーリーホック→ホンダロック宮崎

2009年から宮崎日本大学中学校サッカー部監督

2010年から高等学校の監督、11年目

2018年日本大学商学部(通信教育部)卒業

指導実績／2020年全国高等学校サッカー選手権大会宮崎県大会優勝



1 事務局

高校選手権宮崎県大会の優勝、おめでとうございます。県内の高校サッカー界は、鵬翔高校、日章学園高校が長らく決勝を戦ってきました。今年、その2チーム以外の優勝は22年ぶりということで、県内は大いに沸きました。優勝までの経緯やご感想などをお伺いします。

南監督

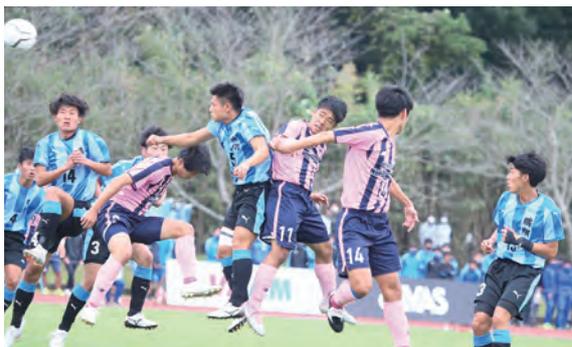
コロナ関係で県高校総体が中止となり、開催が危ぶまれていた選手権大会が開催されると決定した時は、関係者に感謝の気持ちでいっぱいでした。「試合ができる」という喜びをかみしめながら大会に臨みました。

初戦から、前大会で負けていた強豪校と対戦することになり、優勝するというより一戦一戦を全力で戦うことに集中しました。

初戦に勝利したことで勢いに乗り、決勝まで勝ち上がることができました。決勝戦を迎えるにあたって、私たちも選手たちも、過度の緊張はありませんでした。

試合直前のミーティングで、自分たちのやるべきことを明確にし、選手一人一人が力を出し切ることに集中しようと話しました。

苦しい場面も戦い続け、試合終了の笛を聞いたときは、スタッフ全員と涙を流して喜びを分かち合いました。力を出し切った選手、支えてくれた学校や保護者、すべての関係者に心から感謝しました。



2 事務局

勝利の要因は具体的に何だと思えますか。

南監督

相手を分析し、弱点を突きつつ自分たちの強みを最大限に発揮できたことが一番の要因だと思います。

決勝は、先制したものの途中逆転されるという苦しい展開でしたが、自分たちのサッカーを信じて粘り強くプレーを続けたことで、再逆転することができました。

普段の指導においては、今年度から「分業」体制を導入しました。新しい試みでしたが、これによって、各スタッフがより強い責任感をもって指導に当たることができるようになりました。

同時に、チーム全体に一体感が生まれ、選手・スタッフ間に固い信頼関係が構築できました。さらに、最新のGPS機器により、選手個人のデータを数値化し、選手自身が自分の強みと改善点を明らかにしつつ目標をもって練習や試合を重ねることができました。

様々なことすべての歯車がかみ合い、みんなが一つになれたことで優勝を勝ち取れたのではないかと思います。

3 事務局

県大会の優勝を経て、昨年12月、全国大会に出場されました。チーム初の全国大会を迎えるにあたっての意気込みや、大会を終えた感想をお聞かせください。

南監督

まず選手・スタッフの健康管理を徹底しました。移動や宿泊先では、コロナやその他の病気に感染しないよう、細心の注意を払いました。

初戦は、優勝候補の一角である宮城県代表の仙台育英高校でした。相手の情報が少ない中、選手・スタッフ全員でミーティングを繰り返し、対策を練った上で選手たちに伝え、全員で明確なイメージをもって準備してきました。

大会は、無観客試合ということもあり、選手には緊張もなく普段どおりに試合を迎えることができました。

「フィジカルが強くタテに速い、守備時のプレスが強くて速い」という相手の特長にうまく対応し、善戦しましたが、あらゆることが想像以上で、本来の力が発揮できないまま悔しい敗退となってしまいました。

全国で勝つということの難しさを痛感させられた大会でした。

4 事務局

コロナ禍の大会ということで、あらゆる面で大変だったことと推察いたします。大会お疲れさまでした。

多くの部員を抱え、日常の指導にもご苦労が多々おありかと思いますが、監督の指導方針や日頃の練習で大切にしていること、今後の指導への思いや目標などをお聞かせください。



南監督

指導のベースは「サッカーを通じて社会に通用する人間を育てる」ことです。“勝ち”より“価値”ある人間の育成を目指しています。

日頃の練習や試合では、ボールを大切にプレーすることを徹底しています。また、今年度から取り入れたGPS機器を活用し、個人の動きを数値化することにより、選手とスタッフが情報を共有できるようになりました。

機器を使用する前よりも、選手もスタッフも、明確な課題をもって質の高いプレーを指導・実践するようになりました。

全国大会を戦って、組織力はもちろん、場面場面で相手を上回る「個」の強さが高まらなければ勝てないと痛感しました。

一方、現在の指導方法には一定の手ごたえを感じています。スタッフ・選手が一体となって、今回明らかになった課題を日々の練習や試合でクリアしていくことが、次の勝利に向けて最も重要なことであると考えています。

全国屈指の素晴らしい練習環境の中、サッカーができることに感謝し、次の大会でも優勝を目指したいと思います。

5 事務局

最後に、宮崎の若い指導者やジュニアアスリートへのメッセージなどをいただければありがたいです。

南監督

指導者は、絶えず「学ぶ」ことが大切だと思います。

環境も人もめまぐるしく変化している中、自分を常にアップデートし、指導法だけでなく、人間としての多面的な資質を向上させていながら日々の指導にあたることが大切ではないかと思っています。

アスリートの皆さんには、今ある環境が「当たり前」と思うことなく、常に周りに感謝し、指導してくれるコーチを信じ、自分を信じ、夢をもってそれぞれの競技に取り組んでほしいと思います。

そして、苦しい時こそ自分が成長できるチャンスと捉え、諦めることなくトライし続けてほしいです。

6 事務局

これからのますますのご活躍をお祈りいたしております！ご協力ありがとうございました。

7 取材をおえて

中学校の事務長という多忙な毎日を送られているにもかかわらず、快く取材を受けていただきました。

全国有数の強豪校で数々の全国大会を経験し、プロのサッカー選手として活躍するという輝かしい経歴をもちながらも、「感謝」という言葉が多く発せられ、謙虚な姿勢が印象に残りました。

指導者は、常に学び続け、自分を高めていくことが大切というように、ご自身も新しい考え方や指導法を積極的に採用し指導にあたられています。今後の南監督、宮崎日大高校サッカー部のご健闘を祈念いたします。



「私たちは宮崎のスポーツを応援します」

《ご協力ありがとうございます》

本会の賛助会員として御入会を賜り、事業推進にご協力いただいております個人・団体・企業の皆様方の御芳名を掲載し、謹んで謝意を表しますとともに、2027年に開催予定の第81回国民スポーツ大会並びに第26回全国障害者スポーツ大会成功のため、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

※なお、本会は、税制上の「特定公益増進法人」に該当しますので、本会賛助会へ加入いただいた場合寄付金控除の優遇措置を受けることができます。

(令和2年4月1日から令和3年2月22日現在 敬称略)

I 法人・企業・団体会員(152件 300口)

J T B 協定タクシー連盟宮崎会	J T B 協定旅館ホテル連盟宮崎支部
M L T 株式会社	Mスポーツ整形外科クリニック
S I S ビジョン株式会社	アイワ工業株式会社
旭化成株式会社延岡支社	旭建設株式会社
アリストンホテル宮崎	一般財団法人みやぎん経済研究所
井上酒造株式会社	医療法人慶明会おび中央病院
医療法人建悠会吉田病院	医療法人雅会河野整形外科
雲海酒造株式会社	エースランド株式会社
江坂設備工業株式会社	大塚製菓株式会社宮崎出張所
大淀開発株式会社	学校法人旭進学園宮崎第一中学高等学校
学校法人順正学園九州保健福祉大学	学校法人宮崎総合学院
株式会社A V C 放送開発	株式会社J T B 宮崎支店
株式会社M i l k L a b .	株式会社エアラインホテル
株式会社エムアールティ・ミック	株式会社オー・エム・シー
株式会社岡崎組	株式会社九州コミュニティーカレッジ
株式会社共立電機製作所	株式会社近畿日本ツーリスト九州宮崎支店
株式会社黒木本店	株式会社ケイメイ宮崎グリーンホテル
株式会社興電舎	株式会社幸和
株式会社コム光成	株式会社児湯食鳥
株式会社坂下組	株式会社志多組
株式会社タカヒラ	株式会社タダスポーツ
株式会社テクノミックス	株式会社テツカ
株式会社テレビ宮崎	株式会社デンサン
株式会社永野(ナガノヤ・ウメコウジ)	株式会社ニチワ
株式会社ニッショー	株式会社日本旅行宮崎支店
株式会社ニューウェルシティ宮崎	株式会社ホテルマリックス
株式会社宮崎観光ホテル	株式会社宮崎銀行
株式会社宮崎新生社印刷	株式会社宮崎太陽銀行
株式会社宮崎ツアーサービス	株式会社宮崎日日新聞社
株式会社宮崎放送	株式会社宮崎山形屋
株式会社明光社	株式会社メイトーテック
株式会社夕刊デイリー新聞社	株式会社ユニオンコートホテルメリージュ
株式会社ヨシダヤ	画廊 Art2013
神崎建設工業株式会社	北一株式会社
キューキ工業株式会社	京屋酒造有限会社
清本鐵工株式会社	霧島酒造株式会社
黒木歯科医院	公益財団法人宮崎県観光協会
公益財団法人宮崎県スポーツ施設協会	公益社団法人宮崎県柔道整復師会
合資会社小川屋	合資会社シビルプランニング
興和商事株式会社	大星電機株式会社
高鍋信用金庫	東武トップツアーズ株式会社宮崎支店
野崎漬物株式会社	延岡信用金庫
バドミントンショップIBS	フェニックスリゾート株式会社
弁護士法人衛藤法律特許事務所	松田商事株式会社
丸山物産株式会社ホテルクレイン橘	南日本酪農協同株式会社

宮銀カード株式会社	宮銀コンピューターサービス株式会社
宮銀ビジネスサービス株式会社	宮銀ベンチャーキャピタル株式会社
宮銀保証株式会社	宮銀リース株式会社
宮崎液化ガス株式会社	宮崎ガス株式会社
宮崎空港ビル株式会社	宮崎ケーブルテレビ株式会社
宮崎県スイミング協会	宮崎県ホテル旅館生活衛生同業組合
宮崎県遊技業協同組合	宮崎酸素株式会社
宮崎紙工印刷株式会社	宮崎第一信用金庫
宮崎ひむかライオンズクラブ	宮崎ヤクルト販売株式会社
民宿美波	名鉄観光サービス株式会社宮崎支店
米良電機産業株式会社	有限会社いろは企画
有限会社かわにしスポーツ	有限会社郡山板金工業所
有限会社創和	有限会社トレス
有限会社橋本商会	有限会社ホテル金住
有限会社堀之内スポーツ店	有限会社マイルストーン
吉原建設株式会社	旅情苑やまざと
一般財団法人宮崎県水泳連盟	一般財団法人宮崎陸上競技協会
一般社団法人宮崎県サッカー協会	NPO法人宮崎県サーフィン連盟
宮崎県アイスホッケー連盟	宮崎県弓道連盟
宮崎県グラウンド・ゴルフ協会	宮崎県ゲートボール協会
宮崎県高等学校体育連盟	宮崎県高等学校野球連盟
宮崎県四半の弓道連盟	宮崎県銃剣道連盟
宮崎県柔道連盟	宮崎県スケート連盟
宮崎県ソフトボール協会	宮崎県体操協会
宮崎県卓球協会	宮崎県中学校体育連盟
宮崎県テニス協会	宮崎県なぎなた連盟
宮崎県軟式野球連盟	宮崎県馬術連盟
宮崎県バドミントン協会	宮崎県バレーボール協会
宮崎県ハンドボール協会	宮崎県武術太極拳連盟
宮崎県ボクシング連盟	宮崎県ライフル射撃協会
宮崎県ラグビーフットボール協会	宮崎県レスリング協会

II 個人会員(72件 106口)

相星 正人	秋田 義久	朝比奈紀行	新木 るり
飯干 裕二	石原 実	入倉 俊一	岩切 正義
上杉 聡視	植松 義文	大西 敏夫	大山 直生
尾形 洋子	尾崎 太朗	押川 尚生	甲斐 藤昭
甲斐 守	鹿島庄一郎	鎌田 伸次	上江田安博
川崎 重雄	川添 健一	河内 徳康	河野 幸榮
河野 順	木宮 浩二	児玉 剛	財津 吉長
斉藤 重保	坂口 和隆	佐多 裕之	塩月 光夫
重信 和行	菅 薫	巢立 勝弘	田代 均
田村 司	中馬 康裕	黒葛原朱美	寺園 圀順
東長 達也	得能 剛	長友 寧雄	中村 嫁苗
中村 正親	丹生 進一	萩尾 英司	橋田 和実
原口 宏史	原田 昭彦	原田 種英	原田 誠
東 啓三	日高 翼	日高 和典	平本 修
廣田 彰	廣田 忠則	福島 慎哉	藤居 奈歩
藤元 良一	古川 康二	松本 守人	三浦 徹也
森 隆茂	横山 博	米丸麻貴生	若林 繁幸
和田 保典	渡邊 理	他 匿名希望2名	

III 香典返し(2件)

鹿島 敏枝	井野 光弥
-------	-------

IV 寄贈(1件)

高体連OB会

編集後記

まずは、本協会における今年度全ての事業が無事に終了しましたことを御報告申し上げますとともに、本協会の各種事業等の推進に対しまして、関係の方々からの御支援、御協力をいただきましたことに衷心より感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルスの影響で、本協会が計画しておりました様々なスポーツイベントや会議等、さらに、第76回国民体育大会までもが中止となりました。この苦しい状況が改善され、早くスポーツの日常を取り戻したいと切に願うばかりです。

そのような中、第76回国民体育大会冬季大会第40回九州ブロック大会アイスホッケー競技大会が、令和2年12月12日に開催されました。開催地となった福岡県立総合プールのスケートリンクでは、厳重な感染症対策のもと競技が行われました。コロナの関係で合同練習がほとんど行えませんでした。宮崎県選手団は最後まで熱い思いと強い結束力で戦っていただきました。選手団をはじめ関係各位の皆様に、心から感謝申し上げます。

また、「宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト」は5年目が終わろうとしており、これまで50名の修了生を送り出してまいりました。修了生は、全国大会での入賞など、少しずつではありますが、全国的な活躍が見られるようになってまいりました。今年度は約半分の育成プログラムが中止となる中、現アスリート生も、実施したプログラムを精一杯楽しみ、新しい学びを得ながら躍動しております。この事業は、多くの競技団体をはじめとする関係機関の多大なる御協力により、質の高いプログラムを提供することができております。今後ともよろしく願いいたします。

さて、本誌は、本協会の名称変更に伴い、宮崎体協から「宮崎スポ協」と変更いたしました。号数は引き継ぎ、220号として本誌を発刊いたします。発刊に際し、御多用の中、寄稿・写真提供をしていただいた全ての方々に心から感謝を申し上げます。

結びに、本協会は今後も、宮崎県スポーツの発展のために、誠心誠意努力してまいりますので、今後とも温かい御支援・御鞭撻をお願い申し上げ、編集後記とさせていただきます。

◆事務局

公益財団法人 宮崎県スポーツ協会
〒889-2151 宮崎市大字熊野字島山1443-12
ひなた宮崎県総合運動公園受付・案内所2F
TEL 0985-58-5633 FAX 0985-58-5630
E-mail / miyazakiken@japan-sports.or.jp

◆発行所

公益財団法人宮崎県スポーツ協会
編集発行人 佐多 裕之

◆表紙写真

第74回国民体育大会
宮崎ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト



『チームみやざき応援グッズ』

みやざき犬ポロシャツ・Tシャツの販売について

1 趣 旨

「チームみやざき」のPRと、宮崎県シンボルキャラクターみやざき犬のアピールを図るとともに、本県のスポーツ活動を応援する。

2 販売品

- ポロシャツ (4色) ・ピンク ・ネイビー ・ホワイト ・ブラック
- Tシャツ (4色) ・ピンク ・ネイビー ・ホワイト ・ブラック

サイズ

XS・S・M・L・XL・2XL・3XL・4XL・5XL・6XL・7XL

※ピンクについては、ポロシャツ・Tシャツともに(XS～4XL)

3 販売価格(消費税込み)

- ポロシャツ 3,500円(XS～4XL) 3,700円(5XL～7XL)
- Tシャツ 2,500円(XS～4XL) 2,700円(5XL～7XL)

4 販売対象者

小学生、中学生、高校生、一般、その他スポーツ愛好者の方々

5 販売方法

(1)本協会HP専用リンクから注文書をダウンロードし、本協会事務局へFAXでご注文ください。

(2)代金を指定の口座へ振り込みください。

(3)振込を確認後、本協会事務局から注文された方々へ商品を発送いたします。

※ 送料、振込手数料は購入者ご負担となります。ご注意ください。

※ 直接取りに来られる方は、平日のみ本会事務局にお願いします。

(ひなた宮崎県総合運動公園入口 受付案内所2階)

6 その他

- ポロシャツ及びTシャツは、国民スポーツ大会、全国障がい者スポーツ大会における本県準ユニフォームとしても着用できます。
- お問い合わせは、0985-58-5633 公益財団法人宮崎県スポーツ協会まで



ポロシャツ

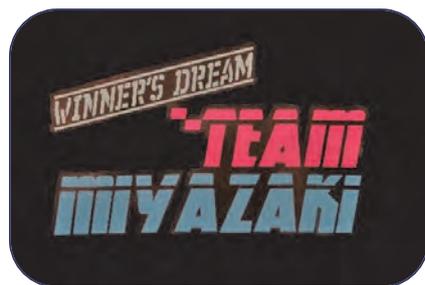
Tシャツ



〔首後〕



〔右袖〕



〔左胸〕



〔前〕



〔後〕

【 ポロシャツ(4色) 】

・ピンク ・ブラック(新色) ・ホワイト ・ネイビー

【 Tシャツ (2色) 】

・ホワイト ・ネイビー

【 サイズ 】

XS ・ S ・ M ・ L ・ XL ・ 2XL
3XL ・ 4XL ・ 5XL ・ 6XL ・ 7XL

※ ピンクについては、(XS～3XL)



タマチャンショップ宮崎 micc 店

話題の自然食品店が オープン!

全国各地の上質な食材を厳選し、食を通して身体の内外からキレイな身体づくりにアプローチした商品を数多く取り揃えております。
必要な栄養素をバランスよく取れる美容サプリをはじめ、自然食品など人気の商品がラインナップ。
「美カフェ」では、美粉屋シリーズの試飲もできます。

学生 + 保護者向けパーティプラン

(謝恩会・祝賀会・卒部式など)

※ 飲食料・会場使用料・音響使用料・サービス料込

2時間 プラン (税込)

大人 4,500 円
高校生 3,500 円
中学生 3,000 円
小学生 2,500 円

3時間 プラン (税込)

大人 5,000 円
高校生 4,000 円
中学生 3,500 円
小学生 3,000 円



▲ダイヤモンドホール



▲エメラルドホール

※30～300名様までご対応いたします。

○大人の方（保護者・先生など）のご参加は20名様以上をお願いいたします。
○上記プランは各会の開始から終了までのお時間となります。
○終了時間から30分以上超過した場合、お一人様500円の追加料金が発生します。

※上記につきまして、予め担当者へご相談ください。

**その他、式典やウエディング、各種展示会など、
お客様の要望に応じたプランをご提案させていただきます。**



880-0001 宮崎市橘通西4丁目6番3号
□TEL 0985-22-1111 □URL <http://www.mrt-micc.co.jp>

株式会社 ams

酸素は、人間にとってはなくてはならない存在です。酸素ルーム・カプセルでは、高気圧酸素と低気圧酸素を設定することができ、目的にあった使用が可能です。

高気圧酸素では、血液中の酸素濃度を高め、酸素セラピーにより身体の各機能を整え健康増進が期待できます。

低気圧酸素では、高地環境でのトレーニングが可能。筋肉への酸素の供給が制限されるため、身体に負担がかかり運動を強度にすることができます。

酸素ルームは、4～5人タイプから20人～30人が同時に使用できるタイプまで、設置環境・用途によってカスタムオーダーが可能ですので、ご検討の際はご相談ください。



お問い合わせ先

株式会社 ams

〒880-2112 宮崎市小松 162-4-301

TEL : 0985-82-6666 FAX : 0985-82-8377



ケイズストリートホテル宮崎は
みやぎきのスポーツを応援します

宮崎県庁楠並木通入口に位置し、空港・駅・高速道へのアクセスも抜群。ビジネスホテルの概念超えた上質の満足をお届けするハイクラスビジネスホテルです。

〒880-0805

宮崎市橘通東1丁目8番6号

ケイズストリートホテル宮崎

TEL 0985-61-8622

FAX 0985-61-8440

URL <http://www.ksmgt.net>

E-mail info@ksmgt.net





“夢に逢いに行こう”

夢に逢いに行こう

笑顔 人から人へ

夢に逢いに行こう

街は 明日も元気さ

夢に逢いに行こう

笑顔の生まれる 街へ

あなたといっしょなら

夢はきっと かなうさ




みやぎんイメージソング♪
「夢に逢いに行こう」
ユメニくん

スマホの方は***


アイニちゃん

ホームページでフルコーラスをお聴き頂けます。*音声のみ



スマホで
店舗・ATM
簡単検索!



明日の夢 人から人へ
宮崎銀行

<http://www.miyagin.co.jp/>

宮崎県スイミング協会

県内のスイミングスクールが加盟する団体です。

子どもから大人まで地域の方々の健康づくりや社交の場を目的として、
地域に根ざしたスイミングクラブづくりを目指します。

また、県スイミング協会では、小学生から高校生を対象とした水泳大会を春と秋
2回開催しており、成人の方を対象とした水泳大会を年1回開催しております。

見学や体験など受け付けておりますので、各クラブへのお気軽にお問い合わせください。

スイミング名	連絡先
ターザンスイミングクラブ	〒882-0862 延岡市浜町 364 TEL : 0982-22-1133 FAX : 0982-22-1669
西都スイミングスクール	〒881-0023 西都市大字調殿 778-1 TEL : 0983-43-5591 FAX : 0983-43-5648
タートルスイミングスクール	〒886-0005 小林市南西方 2087 TEL : 0984-22-3969 FAX : 0984-22-7148
ビートスイミングサンフラワー	〒880-0951 宮崎市大塚町池ノ内 1066 TEL : 0985-47-6100 FAX : 0985-47-6101
ビートスイミング日向	〒883-0021 日向市財光寺 491-1 TEL : 0982-66-5880 FAX : 0982-66-5890
西日本スイミングクラブ祇園校	〒880-0024 宮崎市祇園 3-168-2 TEL : 0985-22-4871 FAX : 0985-22-7045
フィットピアスイミング・フィットネス	〒885-0078 都城市宮丸町 3021 TEL : 0986-26-0777 FAX : 0986-22-5530
UMKスイミングスクール	〒885-0024 都城市北原町 2-1 TEL : 0986-23-0450 FAX : 0986-25-0633
西日本スイミングクラブ柳丸校	〒880-0844 宮崎市柳丸町 116-2 TEL : 0985-29-6910 FAX : 0985-29-6913

旅が、

未来の

わたしを

つくる。 www.tobutoptours.co.jp

 **東武トップツアーズ** 宮崎支店

〒880-0805 宮崎市橘通東 3-1-47 宮崎プレジデントビル 4F TEL.0985-25-6111 FAX.0985-29-3010

東武トップツアーズは、東京2020オリンピック・パラリンピックを
応援しています。





みんなの夢を応援したい

遠征や合宿のお手伝いはお任せください！

近畿日本ツーリスト

株式会社近畿日本ツーリスト九州

近畿日本ツーリスト九州 宮崎支店
宮崎市橘通東3-6-19 EST2ビル6F
☎ 0985-25-4895

弁当はお任せください



木花運動公園
すぐ近くです！

地元ならではの材料で作る美味しい手作り弁当はいかがでしょうか！
大会前日までにご予約いただいた方にはさらにサービスいたします。

ご予算に応じて内容も変更可能！

**手作り弁当
マロ**

県総合運動公園前
TEL **0985-58-0785**
FAX **0985-58-1252**



私たちは 宮崎のスポーツを 応援します。

日本体育大学宮崎県同窓会

ご連絡とお問合せは

〒 886-0213 宮崎県小林市野尻町三ヶ野山3164-2

電話・FAX 0984-44-1312

日本体育大学宮崎県同窓会会長 長友 寧雄

日本体育大学宮崎県同窓会事務局長 鶴水 義広



小さな掛金、大きな補償

スポーツ安全保険®

対象となる事故

団体・グループ活動中の事故/往復中の事故



保険期間

令和3年4月1日午前0時から
令和4年3月31日午後12時まで

加入区分・掛金・補償額

加入対象者	補償対象となる団体・グループ活動	加入区分	年間掛金 (1人当たり)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (最高)	入院日額 (1日目から/ 180日限度)	通院日額 (1日目から/ 30日限度)		
子ども (中学生以下) ※特別支援学校 高等部の生徒 を含む	スポーツ活動 文化活動 ポランティア活動 地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円)	180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 上段: 団体活動中およびその往復中の補償額 下段: 上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 熱中症および細菌性・ウイルス性食中毒の 場合、保険金額はA1区分と同額	3,150万円	5,000円	2,000円	対人・対物賠償 合算1事故 5億 500万円 (ただし、対人賠償は 1人1億500万円)	
大人 (高校生以上)	スポーツ活動(指導・審判を含む) ※右記年齢の判断は、「令和3年4月1日」と「掛金の支払い手続きを行う日」のいずれか遅い日の年齢を基準とします。 ※A2区分で対象となる活動も補償されます。	C 64歳以下	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	対人・対物賠償 合算1事故 5億円 (ただし、対人賠償は 1人1億円) ⚠️自動車事故によつて賠償責任を負った場合は、 補償の対象なりません。	180万円
		B 65歳以上	1,200円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
	文化活動 ポランティア活動 地域活動 準備・片付け・応援・団体の送迎 ※スポーツ活動中の事故は補償の対象なりません。	A2 A2区分は65歳以上の方も加入 できます。	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円		
全年齢	危険度の高いスポーツ(指導・審判を含む)	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		

年間掛金には、制度運営費(10円)が含まれます。

公益財団法人 スポーツ安全協会 宮崎県支部

TEL 0985-55-3136 電話受付時間 午前8時30分～午後5時15分(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。
ご加入はインターネットからのお手続きが便利です。

スポーツ安全保険 検索



この広告はスポーツ安全保険の概要についてご紹介したものです。ご加入の際には、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書によりませんが、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

〈引受幹事保険会社〉

東京海上日動火災保険株式会社
担当課 公務第2部 文教公務室 ☎️ 0120-233-801
(平日9:00～17:00)

〈共同引受保険会社(令和3年4月予定)〉

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動 日新火災 三井住友海上 AIIG損保

